

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	8	事例No	4	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	4年生3クラス(94名)						
実施日時	令和2年10月29日(木)10時45分~12時20分(3クラス合同で実施)						
テーマ	ESD子ども教室						

●依頼内容

小学校4年生を対象に、環境学習の授業を実施していただける講師を紹介してほしい。子どもたちが環境問題に関心を持ち、知識や考えを広げたり深めたりする授業を行いたい。地球温暖化にフォーカスし、温暖化の原因、防ぎ方、新エネルギー等について教えたい。授業は2回に分けて実施し、1回目は地球温暖化、2回目は新エネルギー等持続可能な社会というテーマで行いたい。

●講師：原 理史 氏 (中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学国際 ESD-SDGs センター)

原氏は EPO 中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方 ESD 活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESD をはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績があり、今回の依頼に適任と考えられ講師を依頼することとした。

●授業の内容

X博士の質問	はじめに、「X博士」に扮した講師からパワーポイントを使って、○、△、×を選択して回答するクイズが5問出題され、子どもたちは1人ひとり自分で考えて、○のエリア、△のエリア、×のエリアにそれぞれ移動して答えた。	25分
標語づくりとポスターの作成	子どもたちは「自分でできる地球にやさしいこと」をテーマに、どんな取り組みができるかを考えて標語にまとめた。つづいて、クラスごとに4人程度のグループに分かれ、グループのメンバーの標語の中から一つを選んで模造紙にマーカーを使って文字やイラストを書き込み、ポスターとして仕上げた。	40分 (途中5分間休憩)
ポスターの展示と投票	仕上がったポスターを体育館の壁に掲示し、各グループのメンバーからポスターの説明を聞いた上で、好きなポスターを選んで投票した。	15分
まとめ	最後に、講師から投票結果の発表と講評が行われた。講師からは、投票数の多い取り組みがよいわけではなく、すべてのグループが考えた取り組みが大切であるという話があった。また、地球にやさしくするために世界中で取り組む17の目標・SDGsについての紹介が行われた。	10分

●授業の様子

授業は体育館で3クラス合同で行われました。X博士からの質問では、子どもたちは地球にやさしい行動(○)、優しくない行動(×)、関係ない行動(△)のいずれであるかを考えて、○、△、×のエリアに元気よく移動して答えていました。標語づくりやポスターづくりでは、最初は戸惑いもありなかなか作業が進まないグループもありましたが、時間の経過とともに友だち同士で協力しながら積極的に取り組む姿がみられました。最後にクラスごとにポスターの前で写真を撮影して授業を締めくくりました。

X博士からの質問に挑戦しました。



「自分でできる地球にやさしいこと」をポスターにまとめました。

